

## 全国放送番組の公開録画

8月20日(土)、LIC はびきのにてNHK大阪放送局と羽曳野市の共催で、Eテレ(教育テレビ)の全国放送番組「福祉ネットワーク 公開すこやか長寿」の公開録画を実施しました。第1部では、高齢者やご家族の方が自宅で簡単にできる健康法やリハビリ運動などの最新情報を、第2部はタレントの山田 邦子さんによる講演でした。



## 第53回 大阪府老人クラブ大会

9月9日(金)、第53回大阪府老人クラブ大会が開催されました。知事より優良クラブに対して贈られる表彰を「老人クラブしろやま(1)」と「高鷲南宮高生クラブ」が受表彰し、個人では長年の功績を称え、服部 和夫さんと吉原 美智子さんが表彰を受けました。その他では、長生会第13 通法寺老人会、西羽曳が丘なごみの会、南ヶ丘もみじ会が会員を増やした功績を認められ、表彰を受けられました。おめでとうございます。



## 多年にわたり火災予防を普及!

市婦人防火クラブ会長の木村 真知子さんは火災予防の普及などの功績から、安全功労者総務大臣表彰を受けました。平成12年に会長に就任された木村さんは、「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、自らが先頭に立ち積極的に訓練などに励みました。これからも地域の火災予防の啓発など、ますますのご活躍を期待いたします。



## 白鳥小学校の33年ぶり壁画復元

～あいさつ 日本一を目指して(学校と地域の想い)～

朝、児童が登校してくる校門からみえる大きく掲げられた「あいさつ 日本一」の文字。しかし、反対側には昭和52年度卒業の生徒が描いた色褪せてしまった動物の壁画(右写真)があります。「あいさつ日本一」を目指す白鳥小学校の麻野校長は、塗料がはげているため元気なくみえる動物たちを、何とかしたいという気持ちでいっぱいでした。この想いはいつしか地域に広がり、また、当時壁画を手がけた卒業生までも届きました。さらには、羽曳野ロータリークラブからも賛同を得て協力をいただくことになりました。夏休み前に「壁画復元スケジュール」をたて、8月後半には、33年前に壁画を手がけた18人の卒業生が母校に集まり、美術の先生による指導の下、仕上げ塗りに取り掛かりました。そして、2学期が始まる直前、見事に壁画が復元されました。新学期の朝、校門で出迎える校長先生に「おはようございます!」と元気にあいさつする児童たちは復元された壁画に気づき驚いていました。校長先生は、笑顔で登校する子どもたちに「数十年後、壁画が色褪せてしまったら、復元はまかせたよ」と心の中で語りかけました。



## 火災の早期発見・感謝状の贈呈

6月22日、羽曳野市内で車両火災が発生しました。火災を早期に発見し、通報および初期消火を行ない、連携プレーにて隣接する民家への火災の延焼拡大を防いだ市民2人に対し、柏原羽曳野藤井寺消防組合消防長から感謝状の贈呈を行ないました。河合 智子さんは、散歩中に車から炎があがっているのを発見し、119番通報するとともに、消火の手助けをされました。また、原田 忠さんは自宅に居る時、近所で「火事や」という声が聞こえたので、自宅の消火器を持って走り、まだ燻ぶっている車のボンネット付近にかけ消火をされました。(贈呈式:8/14)



## 全国吟詠コンクール大会大阪南地区予選大会

生まれながらに知的障がいを持つ山脇 奈巳さんは、お父様が口ずさむ詩吟を耳で聞き、練習を重ねることにより、レコード会社が主催する、全国吟詠コンクール大会大阪南地区予選大会において、見事準優勝に輝かれました。



「はびきのタケルくん体操」



8月30日(火)、高年生きがいサロン2号館(恵我之荘)で、「はびきのタケルくん体操」の体験教室が行なわれました。この体操は、市柔道整復師会が和田理事長を中心に、子どもから高齢者までパワフルで元気に、「健康で生き生きと暮らせるやさしいまち」を目指して考案されたご当地体操です。今回の参加者の平均年齢は72歳で、教室前のストレッチや前回の体操のポイントを確かめ合い、体操中は真剣な中にも笑顔で元気よく体を動かしていました。体操後、参加最高齢89歳の柳生治さんは、「できるだけ参加しています。友人にも会えるし、音楽に乗って体を動かすのが大好きです。」と少し赤くなった顔に、弾んだ声で話していただきました。

～幻想的なとうろうまつり～

あたりが薄暗くなり、とうろうに灯りがともされると、幻想的な癒しの空間に心を奪われる。東日本大震災から半年が経過した9月11日(日)、障がい者と共に歩んできた組織「里山の会」が主催する「とうろうまつり」は10回目を迎えました。今年は方針を少し変え、東北復興への願いと犠牲になった方々への鎮魂の祈りを込め、数え切れない程のとうろうを飾られました。この会の代表を務める田中博子さんは「障がいを持った人たちも日常を忘れ、この里山でリフレッシュしていただければ」と話し「みんなの



おかげで心穏やかに過ごすことができました」と感謝の思いも述べられました。集まった義援金は市役所へ届けてくださいました。



おかげで心穏やかに過ごすことができました」と感謝の思いも述べられました。集まった義援金は市役所へ届けてくださいました。

～東北からよろこそ、羽曳野市へ～

8月18日(木)、東日本大震災のボランティア活動支援団体が主催となり、LIC はびきのにて「ありのままの被災地便り」と題し、被災された方々を招いて、被災地の問題点などをお伺いしました。いわき市で被災された堂前正吾氏は、風評被害を受けた話などをされました。また、仙台市若林区で被災された神坂旭氏は、友人を多く亡くしたことや仮設住宅の実状を伝えてくれました。このイベントを主催した団体の代表を務める西川文子さんは「被災地で苦しんでいる



方々が声を詰まらせ発表してくださいました。皆様方の支援をお願いします」と話されました。

羽曳野市敬老会 ～5カ所で実施～

9月14日(水)と15日(木)の2日間にかけて、市内公共施設5カ所で敬老会を実施しました。第2部の「歌謡ショー」や「コミック手品」、「音曲漫才」などのアトラクションは今年も大盛況でした。



にしかわ るい 高鷲  
**西川 瑠泉ちゃん**  
平成23年3月5日生まれ  
瑠泉はパパとママの幸せの種  
元気な花を咲かせてね。  
母親の晃子さん撮影



やまもと ももか 誉田  
**山本 百夏ちゃん**  
平成22年11月9日生まれ  
右は兄:山本 陸斗くん  
笑顔で元気に育ってね。  
母親の祥子さん撮影



とみた しょう 高鷲  
**富田 翔ちゃん**  
平成23年3月25日生まれ  
パパとママの子供に産まれてきてくれて  
ありがとう★元気で強い子になってね!!!  
母親の愛さん撮影

こんにちはあかちゃん